

# 否定表現

英語では、基本的にはnoやnotを用いて否定表現をします。  
否定とはいっても「絶対～ではない」という全体否定や、「全てが～というわけでもない」と部分的な否定もあり、その用法や意味や様々です。  
一通り使い方をマスターして、より正確な英語による表現や理解ができるようになりましょう。

## 1. 基本的な否定表現

否定はnotを使うことによって表現できますが、基本的には次の3つをおさえておきましょう。  
後にnotを使った基本的な否定表現の表を時制(現在、過去、未来)を含めて載せておきます。

●be動詞の否定(be動詞の直前にnotをつけましょう)

*He is a student. (彼は学生だ)*

↓

*He is not a student. (彼は学生ではない)*

(is not はisn'tに省略できます)

●一般動詞の否定(likeなどの一般動詞を否定するときの表現。

主語に応じてdon'tもしくはdoesn'tを動詞の前につけましょう)

*He likes sushi. (彼は寿司が好きだ)*

↓

*He does not like sushi. (彼は寿司が好きではない)*

(does notはdoesn'tに省略できます)

●助動詞の否定(willなどの助動詞の否定。助動詞の直後にnotをつけましょう)

*Rob will join the party. (ロブはそのパーティに参加する予定だ)*

↓

*Rob will not join the party. (ロブはそのパーティには参加しないだろう)*

(will not はwon't に省略できます)

## 否定の活用一覧

	be動詞 (現在形)	be動詞 (過去形)	一般動詞 (現在形)	一般動詞 (過去形) (全て同じ)	助動詞 (canの場合) (全て同じ)
I	am not	was not (wasn't)	do not (don't)	did not (didn't)	can not (can't)
you	are not (aren't)	were not (weren't)	do not (don't)	did not (didn't)	can not (can't)
he/she (もしくは一人の 人名)	is not (isn't)	was not (wasn't)	does not (doesn't)	did not (didn't)	can not (can't)
we	are not (aren't)	were not (weren't)	do not (don't)	did not (didn't)	can not (can't)
they	are not (aren't)	were not (weren't)	do not (don't)	did not (didn't)	can not (can't)

## 2.副詞による否定(never, hardly～など)

英語の副詞は文章に付け加えることによって機能します。上記のnever,hardlyなどは副詞なのでそのまま文章に加えるだけで表現が成立します。notは不要です。

- never「決して～ではない」(強い否定の意味になります)

**例★I never listen to classical music.**

わたしは決してクラシック音楽を聴かない。

- hardly ever(scarcely ever)「めったに～しない」

**例★They hardly(scarcely) ever go out to eat.**

彼らはめったに外食しない。

- rarely(seldom)「ほとんど～しない」(seldomも同じ意味)

※上記hardly(scarcely ever)よりも否定の度合いは低いです。

**例★Justin rarely(seldom) works in the office.**

ジャスティンはオフィスでほとんど働かない。

## 3.no + 名詞(決して～ではない)

名詞の直前にnoをつけることで、その名詞の存在を強く否定することができます。

**例★He is no superman.**

彼は決してスーパーマンではない。

## 4.部分否定

ある事柄の全体を否定するのではなく、部分的に否定する表現。

- not+all(全てが～というわけではない)

**例★Not all the customers paid a tip to the waiters.**

全ての客がウェイターにチップを払うとは限らない。

- both+not(両方～とは限らない)

**例★The rich men has two cars.Both of the cars are not expensive.**

その金持ちの男は車を2台持っている。それらの車が2台とも値段が高いとは限らない。

- not+everything(全てが～とは限らない)

**例★Not everything is going to be the same.**

全てのものが同じであろうとは限らない。

- not+always(いつも～とは限らない)

**例★The English teacher's English is not always correct.**

その英語の先生の英語はいつも正しいとは限らない。

- not+quite(完全に～というわけではない)

**例★I cannot quite understand what the actor is saying.**

その俳優が何と言っているのか、完全に理解することはできていない。

## 5.完全否定

あることを「完全に」否定する表現。一般的な否定ではなく、それが完全な否定であることを強調しています。

●not + at all (完全に～ではない)

**例★***I cannot understand what the actor is saying at all.*  
その俳優が何とっているのか、完全に理解できない。

●neither (どちらも～ではない) ※2つものに言及しているとき。

**例★***I've read neither of those books.*  
私はそれらの本のどちらも読んだことはない。

●not + either (どちらも～ではない) ※2つものに言及しているとき。

**例★***I haven't read either of those books.*  
私はそれらの本のどちらも読んだことはない。

●none (全く～ではないもの) ※名詞として機能します。

**例★***None of the people were swimming in the ocean because the water was freezing.*  
水がとても冷たかったので、彼らのうち誰一人も海で泳いではいなかった。

●not + any (全く～ではない) ※否定文の際の目的語の名詞の前にanyをつけます。

**例★***I don't have any CD.*  
私はCDを全く(一枚も)持っていない。

●nothing (無、という意味の名詞)

※名詞として機能し、形容詞を後につけることもできます。

**例★***Nothing is going to be the same.*  
同じであろうものは何一つない。

## 6.二重否定

一つの文中に否定語が2つ登場するときがあります。これは「～ではないということはない」といった具合に肯定的な意味を持ちます。マイナスとマイナスをかけると逆にプラスになるような感じです。

●never + without ~ (～なしには...しない)

**例★***People from America never say goodbye without hugging.*  
アメリカ出身の人たちは、ハグをせず、さよならを言わない。  
(さよならを言うときは必ずハグする)

●nobody + without ~ (～なしには誰も...しない)

**例★***Nobody can get better at something without making mistakes.*  
失敗することなしには誰も向上しない。

●not + un 形容詞 (～ではないというわけではない ※2重否定)

(unは「反対の～」を意味し、言葉の頭につきます)

unhappy といえば「幸せではない～」という意味。

**例★***I am not unhappy about my test results.*  
私はテストの結果について、幸せではないわけではない。

## 7.notとの組み合わせでよく使われる副詞

下記の言葉はnotとよく一緒に使われる副詞です。それぞれに意味があるのでおさえておきましょう。

●not very much(あまり～ではない)

**例★***We don't watch sports on TV very much.*

私たちはあまりテレビでスポーツをみない。

●not necessarily(決して～とは限らない)

**例★***Drinking coffee is not necessarily the best way to get energy.*

コーヒーを飲むことは、エネルギーを得るために決して最良の方法とは限らない。

●not fully(完全には～ではない)

**例★***The investigation is not fully done.*

その調査は完全に完了してはいない。

●not completely(完全には～ではない)

**例★***Fate is not completely decided.*

運命は完全に決まっているわけではない。

## 8.否定の意味を含むイディオム(いくつか紹介します)

(イディオム(慣用句)として使われ、否定の意味を持っている表現)

●nothing like～(～ほどのいいものはない)

**例★***There is nothing like going to the beach on a hot summer day.*

暑い夏の日にはビーチに行くほどいいものはない。

●not～ until(till)....(....するまで～できなかった)

**例★***She did not believe she could become a flight attendant until she passed all of the training successfully.*

彼女は、全ての訓練を見事に終わるまで、フライトアテンダントになれるとは信じていなかった。

●fail to do(～することを失敗する、やれずにいる)

**例★***They failed to catch the last train because they drank too much.*

彼らは酔い過ぎてしまったので、終電を逃してしまった。

●far from～(～からは程遠い)

**例★***He was far from fine when he had his wallet stolen.*

彼は財布が盗まれたとき、とても尋常ではなかった。

(fine「良い状態」からは程遠かった)

●free from～(～から免れている)

**例★***When I play the drums, I am free from my stress.*

ドラムを演奏するとき、私は自分のストレスから解放されている。